

2023年6月7日をもちまして
原田直彦が会長に 武田智明が理事長に 就任いたしました



原田直彦



Contents

- ごあいさつ 1
- 2022年度 事業運営方針 3
- 事業性評価に基づく伴走支援を強化する 5
- 一創業支援・本業支援 6
- くらしに関わる課題解決を強化する 9
- 地域活性化の中心となり「つなぐ」活動を徹底する 11
- 人づくりの追求・組織づくりの追求 14
- 2022年度 業績ハイライト 16
- 直近単体財務諸表 17
- リスク管理態勢 19
- コンプライアンス態勢 21
- トピックス(経営者保証に関する取組方針ほか) 26
- 総代会等に関する情報開示 27
- 組織図・主な事業の内容 29
- 役員 30
- 営業地区・店舗・ATMコーナー 31
- 沿革 33

経営理念

「明日をひらく」

～自らの成長でお客さまや地域の発展を実現する～

経営姿勢

- 人を大切にします
- この街と歩みます
- くらしを豊かにします

旭川しんきんの概要(2023年3月末現在)

名 称	旭川信用金庫 (旭川市指定金融機関)	預 金	9,820億円
本店所在地	北海道旭川市4条通8丁目	貸 出 金	3,350億円
創 立	1914(大正3)年4月11日	店 舗 数	40店
出 資 金	21億82百万円	常勤役員数	374人(うち、常勤役員8人)
会 員 数	5万657人		

ごあいさつ

日頃より格別のお引き立てを賜り厚くお礼申しあげます。

わが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限が緩和されたことで全体として景気は持ち直しつつありますが、その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻などを契機とする原材料・商品の不足や価格高騰の影響が危惧されております。

当地域においても、全国旅行支援や外国人観光客の入国制限の緩和等により観光業を中心に明るい兆しが出てきている一方、エネルギーや食料品等の大幅な価格上昇による事業経営や家計への影響が懸念されております。

金融面では、本年4月に日銀総裁が交代し、10年に及ぶ金融緩和政策の見直しが模索されるとも言われておりますが、金利引き上げを進めるには、まだ高いハードルがあり、当面は低金利環境が続くと予想されます。

2022年度は、当金庫の中期経営計画「ASKデザイン2022」の初年度にあたり、「リレバン」「DX」「店舗」「サステナビリティ」という4つの重点戦略を掲げ、伴走支援の強化や風通しのよい職場の構築などに全力で取り組んでまいりました。

お客さまと地域に対して、基本方針「課題解決型営業の追求」のもと、事業性評価に基づく伴走支援の強化、くらしに関わる課題解決の強化、地域活性化の中心となり「つなぐ」活動の徹底に全力で取り組んでまいりました。

その結果、一定の業績を収めることができ、会員ならびに取引先各位の温かいご支援・ご愛顧に、心から感謝申しあげます。

当地域経済は、経済活動の正常化で持ち直しつつありますが、人口減少・少子高齢化といった構造的な課題を抱えており、今後も厳しい状況が続くものと思われまます。

そうしたなかで当金庫は、コロナ禍の影響を受けた事業者さまに対する資金繰り・本業支援、ポストコロナに向けた事業の再構築、人手不足・人材不足の問題、DXやサステナビリティの推進など、地域の課題解決に全力で取り組んでまいります。

「お客さまの幸せを実現し地元を元気にする」ため、役職員一人ひとりが「当たり前のことを当たり前徹底して取り組む」ことを肝に銘じ、何事にも誠実に謙虚に、そして、「やりがい」と「チームワーク」を追求し、信頼し尊敬し合えるチームを作り上げてまいります。

お客さまに寄り添うことで共感し合い、信頼関係を深めて、地域で最も信頼される信用金庫をめざしてまいります。

今年度も当金庫の現況をご理解いただくため、ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申しあげます。

2023(令和5)年6月

会 長 原田直彦

理事長 武田智明

2022年度 事業運営方針

経営理念

「明日をひらく」

～ 自らの成長でお客さまや地域の発展を実現する ～

中期経営計画

ASKデザイン2022

～ 従来にとらわれないイノベーションによりお客さまと地域の未来を描き実現する～

(計画期間 2022年4月～2025年3月)

めざす姿

お客さまの幸せを実現し、地元を元気にすることで、職員も幸せになり、当金庫が存在価値を高め、「地域で最も信頼され、なくてはならない金融機関」になる

スローガン

親しみを込めて「さん付け」で呼び合おう

重点戦略

1. リレバン戦略

リレーションシップの追求による持続可能なビジネスモデルの確立

2. DX戦略

デジタル化推進による新たな価値の創造と業務・働き方改革の実現

3. 店舗戦略

店舗のあり方再考によるお客さまと地域・職員・金庫の三方よしの実現

4. サステナビリティ戦略

SDGs・脱炭素化への取組強化による社会課題の解決

基本方針 1

課題解決型営業の追求

- 重点施策 -

- ① 事業性評価に基づく伴走支援を強化する
- ② 暮らしに関わる課題解決を強化する
- ③ 地域活性化の中心となり「つなぐ」活動を徹底する

基本方針 2

人づくりの追求

- 重点施策 -

- ① 共感し信頼関係を構築できる人財を育てる
- ② 金融プロとしての実力と高いモラルを有する人財を育てる
- ③ 「当事者意識」を持った自ら考え挑戦する人財を育てる

基本方針 3

組織づくりの追求

- 重点施策 -

- ① 「風通しのよい職場」を構築し改革を進める
- ② コンプライアンス態勢を強化しモラルを高める
- ③ 活動量と生産性を追求し適正収益を確保する

共有すべき価値観

お客さま本位

やりがいの実感

当たり前のことを当たり前徹底して取り組む

2022年度は、「従来にとらわれないイノベーションによりお客さまと地域の未来を描き実現する」ため、「親しみをこめて『さん付け』で呼び合おう」を合言葉に、「風通しのよい職場」の構築を全力で進め、全役職員が積極的に課題解決型営業を推進してまいりました。

企業経営の皆さまには、事業性評価に基づく資金繰り支援や本業・経営改善支援に、また、個人の皆さまには、暮らしを豊かにするための資産形成やライフサポートなどに鋭意努めてまいりました。

ステップをめざす2023年度は、スローガンを「感謝を込めてありがとうを伝えよう」とし、風通しのよい職場づくりをさらに進め、チーム力の向上を図り、お客さまに寄り添うことで共感し合い、信頼を深めて、地域で最も信頼される信用金庫をめざしてまいります。

ホスピタリティ運動

旭川信用金庫は、ホスピタリティ行動指針「ホスピタリティ・ウェイ」を定め、お客さま本位を組織風土にし、お客さまに喜ばれる仕事をとおして、経営理念を実践していくホスピタリティ運動を推進しています。

当金庫は、「ホスピタリティ・ウェイ」に基づく「私たちの誓い」を宣言し、役職員一同、みなさまのしあわせづくりに邁進します。

行動宣言

私たちの誓い

1. お客さま本位を徹底します
2. さわやかマナーを徹底します
3. 金融プロとしての実力を身につけます
4. 自ら考え自ら行動し、ともに考えともに行動します
5. 使命を共有し、地元に貢献し続けます

旭川信用金庫は「私たちの誓い」を宣言しみなさまのしあわせづくりに邁進します

旭川しんきん

課題解決型営業とSDGs宣言

当金庫は、国連で採決されたSDGsの趣旨に賛同し、率先して「事業」「くらし」「地域」の課題解決に取り組み、SDGs達成に貢献します。

お客さまと地域に向けた取り組み

- 8 働きがいも経済成長も: 創業支援、本業支援、経営改善支援、事業性評価活動
- 17 パートナーシップ 目標を達成しよう: 産官学金の連携、SDGsの普及活動
- 11 住み続けられるまちづくりを: 資産運用・資産形成、ライフサポート、まちづくり、芸術文化支援

環境保全推進 ESG関連商品・投融资

- 6 きれいな水
- 7 再生可能エネルギー
- 12 持続可能な消費と生産
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう

就業サポート 人材教育

- 1 貧困をなくそう
- 2 質の高い雇用を創出
- 4 質の高い教育をみんなに
- 9 産業とイノベーションに力をかかろう

当金庫内の取り組み

- 3 健全な経済を促進: 健康経営推進
- 5 性別平等を促進: 女性活躍推進
- 8 豊かさを創出: 働き方改革推進
- 10 人や国の不平等をなくそう: 障がい者雇用
- 12 持続可能な消費と生産: 環境負荷低減
- 16 公正な裁判と法の府: ガバナンス強化

SDGs (Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標))とは、2015年9月の国連サミットにおいて全会採決された、2030年までに達成すべき国際目標で、17の目標と169のターゲットから構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

旭川信用金庫の『サステナビリティ基本方針』

当金庫は、お客さまと地域に真摯に向き合い、持続可能な地域社会の実現に貢献するため、「サステナビリティ基本方針」を制定いたしました。本方針に掲げる「あるべき姿」と「なすべき戦略」に基づき、経営の重要課題としてサステナビリティを推進してまいります。

サステナビリティ基本方針

当金庫は、経営理念のもと、サステナビリティを経営の重要課題と捉え、「お客さまと地域」ならびに「役職員と当金庫」に対する課題にサステナビリティの価値観を実装・実践することで、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

1. あるべき姿

「今日も明日も幸せであり続けられる」地域社会の実現に貢献する信用金庫

2. なすべき戦略

(1)「お客さまと地域」に対する課題

- ① 環境や社会に寄与する取り組みへの支援強化
- ② 健康で豊かなくらしを実現するための支援強化
- ③ 環境保全や社会課題に関する発信・対話・連携の強化

(2)「役職員と当金庫」に対する課題

- ① 環境や社会に貢献する活動の推進と人材の育成
- ② 多様な人材が個性と能力を発揮できる職場の構築
- ③ 環境や社会の変化に柔軟に対応できる経営基盤の確立

※ サステナビリティとは、「世代を超えてすべての人々が幸せであり続けられる世界」を実現しようという考え方や行動のことをいいます。